

引用・参考文献

- 愛知県史編さん委員会編 2006『愛知県史 別編 文化財1 建造物・史跡』愛知県
- 愛知県編 1972『愛知県昭和史 上巻』愛知県
- 愛知縣護國神社編 2005『愛知県下英霊社忠魂碑等調査報告書 第四輯』愛知縣護國神社
- 新井勝紘・一ノ瀬俊也編 2003『国立歴史民俗博物館研究報告 第102集』国立歴史民俗博物館
- 有坂 純 2007『ダイジェスト日本海軍』『図説 日本海軍入門』株式会社学習研究社
- 安城市史編集委員会編 2004『新編安城市史10 資料編 考古』安城市
- 安城市歴史博物館編 2011『企画展 戦時下にできた明治航空基地』安城市歴史博物館
- 伊藤厚史 2010「見晴台遺跡北西部の濠状遺構と北東部の高射砲陣地跡」『名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第12号』名古屋市見晴台考古資料館
- 伊藤厚史 2011「見晴台遺跡の高射砲陣地跡」『名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第13号』同上
- 伊藤厚史 2004「名古屋高射砲隊・てんりゅう隊陣地跡について」『名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第6号』同上
- 伊藤厚史 2010「大恩寺西第一聴測所について」『戦史考古学研究 No.6』伊藤厚史（私家版）
- 伊藤厚史 2012「豊橋陸軍墓地に所在する軍人記念碑副碑」『戦史考古学研究 No.7』伊藤厚史（私家版）
- 伊藤厚史 2012「豊橋陸軍墓地所在「北満州忠死者之碑」と「昭和三年支那事変忠死者之碑」」『戦史考古学研究 No.7』同上
- 伊藤厚史 2012「軍馬の慰霊碑」『戦史考古学研究 No.7』同上
- 伊藤厚史 2016『学芸員と歩く 愛知・名古屋の戦争遺跡』名古屋市教育委員会・株式会社六一書房
- 伊藤厚史 2010「豊橋海軍航空隊の通信施設について」『戦史考古学研究 No.6』伊藤厚史（私家版）
- 伊藤厚史 2000「陸軍伊良湖試験場の沿革と現存する建物群について」『愛知県史研究 第4号』愛知県
- 海軍施設系技術官の記録刊行委員会編 1972『海軍施設系技術官の記録』海軍施設系技術官の記録刊行委員会
- 笠井雅直 2022『国産航空機の歴史 零戦・隼からYS-11まで』株式会社吉川弘文館
- 春日井市役所 2001『広報かすがい 平成13年8月』春日井市役所
- 株式会社アートボックス編 2003『日本海軍航空隊戦場写真集』株式会社大日本絵画
- 教育総監部編 1944『坑道式掩蔽部（洞窟）構築ノ参考』教育総監部
- 佐山二郎 2010『日本陸軍の火砲 高射砲』株式会社光人社
- 佐山二郎 2000『小銃 拳銃 機関銃入門』株式会社光人社
- 佐山二郎 2011『日本陸軍の火砲 歩兵砲 対戦車砲 他』同上
- 佐山二郎 2012『日本陸軍の火砲 野砲 山砲』同上
- 清水啓介 2017『東海軍管区の防空陣地』清水啓介（私家版）
- 清水靖夫編 1996『明治・昭和 東海都市地図』柏書房株式会社
- 新修名古屋市史編集委員会編 2000『新修 名古屋市史 第六巻』名古屋市
- 新編豊川市史編集委員会編 2007『新編 豊川市史 第三巻 通史編近代』豊川市
- 鈴木 丹 1995「明治基地と海軍航空隊」『安城市史研究 第20号』安城市教育委員会
- 鈴木 丹 2003「明治基地誕生の経緯とその戦後」『安城市史研究 第28号』同上
- 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会編 1994『証言集 地下軍需工場と瀬戸』瀬戸地下軍需工場跡を保存する会
- 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会編 1998『証言・資料集 瀬戸地下軍需工場 付戦略爆撃調査団報告書』瀬戸地下軍需工場跡を保存する会
- 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会編 2010『平和への散歩道を - ぼくたちの町にも戦争があった - 証言資料第4集』瀬戸地下軍需工場跡を保存する会
- 朝鮮人強制連行真相調査団編 1997『朝鮮人強制連行調査の記録 中部・東海編』柏書房株式会社
- 東海市教育委員会編 2021『令和2年度 太佐山高射砲陣地跡確認調査報告』東海市教育委員会
- 東海市教育委員会編 2022『令和2年度 太佐山高射砲陣地跡確認調査報告2』同上
- 豊橋市教育委員会編 2009『豊橋市埋蔵文化財調査報告書第104集 大崎城址』社会福祉法人 豊橋平安寮・豊橋市教育委員会
- 豊橋市史編集委員会編 1983『豊橋市史 第三巻』豊橋市
- 豊橋市史編集委員会編 1987『豊橋市史 第四巻』豊橋市
- 豊橋市水道50年史編さん委員会編 1980『豊橋市水道50年史』豊橋市水道局
- 豊橋市二川宿本陣資料館編 2006『絵葉書のなかの豊橋』豊橋市二川宿本陣資料館
- 豊橋市二川宿本陣資料館編 2012『絵葉書のなかの豊橋II』豊橋市二川宿本陣資料館
- 中村一雄 1967『人柱 工兵第三連隊の記録』工兵第三連隊戦史研究室（中村建設株式会社内）
- 名古屋市 2025『相生山緑地ビジョン 自然と人が共生する相生山緑地』
- 名古屋市教育委員会編 2021『見晴台遺跡発掘調査報告書（第49・50・51次）』名古屋市教育委員会
- 名古屋市見晴台考古資料館編 1992『見晴台遺跡発掘調査報告書 近代編』名古屋市見晴台考古資料館

- 名古屋市長見晴台考古資料館編 2014『見晴台遺跡 第44・45・46・47・48次発掘調査の記録』同上
- 名古屋市計画局、財団法人名古屋都市センター編 1999『名古屋都市計画史(大正8年～昭和44年)』財団法人名古屋都市センター
- 名古屋陸軍造兵廠史編集委員編 1986『名古屋陸軍造兵廠史・陸軍航空工廠史』名古屋陸軍造兵廠記念碑建立委員会
- 浪崎敏武 1990『豊橋陸軍教導学校史(稿)』浪崎志貴(私家版)
- 防衛庁防衛研修所戦史室編 1968『戦史叢書 本土防空作戦』株式会社朝雲新聞社
- 防衛庁防衛研修所戦史室編 1971『戦史叢書 本土決戦準備(1) - 関東の防衛 -』株式会社朝雲新聞社
- 「丸」編集部編 2002『日本兵器総集』光人社
- 森松俊夫 1992『図説陸軍史改訂版』株式会社建帛社
- 百瀬 孝 1990『事典 昭和戦前期の日本』株式会社吉川弘文館
- 守山郷土史研究会 1992『守山区の歴史』愛知県郷土資料刊行会
- 山田邦明・泉田英雄 2023『豊橋と陸軍師団 - 建物と歴史 -』株式会社シンプリ
- 1926『歩兵第十八聯隊 写真帖』豊橋写真製版所
- 第五十一航空師団『東海軍管区航空兵器現況表 昭和20年9月30日』(国立公文書館所蔵資料)(JACAR(アジア歴史資料センター) Ref.A03032135000)
- 陸軍大臣 畑俊六「陸軍兵器補給廠ノ分廠ノ名称及位置ノ件達」『昭和15年 來翰綴(陸密)第1部』(防衛省防衛研究所所蔵資料)(JACAR(アジア歴史資料センター) Ref.C01007782000)
- 参謀本部「第1部 総論/第1篇 築城の素質」参謀本部『昭和15.4.1 「ソ」軍国境築城情報記録』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C13010075400)
- 参謀本部「第2部各論/第3篇 築城の配置(1)」参謀本部『昭和15.4.1 「ソ」軍国境築城情報記録』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C13010075800)
- 横須賀海軍警備隊「昭和18年6月1日～昭和18年6月30日 横須賀海軍警備隊戦時日誌(1)」『昭和18年6月1日～昭和18年10月30日 横須賀海軍警備隊戦時日誌』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C08030464200)
- 横須賀海軍警備隊「昭和18年10月1日～昭和18年10月31日 横須賀海軍警備隊戦時日誌(3)」『昭和18年6月1日～昭和18年10月30日 横須賀海軍警備隊戦時日誌』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C08030464400)
- 「昭和20年2月23日 工場緊急疎開要綱」『昭和20年大東亜戦争戦争指導関係綴 内政・経済の部 其2』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C12120312000)
- 第210海軍航空隊・東海海軍航空隊明治基地隊『昭和20年8月8日現在 現状申告覚書』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C13120015600)
- 「第13方面軍(通称秀第12480部隊)No.20」厚生省援護局業務第一課『昭和20.8.15現在 陸軍部隊(主として内地)調査表』昭和43.7.20調製(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C12121072900)
- 「名古屋陸軍兵器補給廠配置一覧表 昭和20年10月1日」『昭和20.8～11 中部軍復員に関する綴』(防衛省防衛研究所所蔵資料)(JACAR(アジア歴史資料センター) Ref.C15010689900)
- 東海軍管区司令官「部隊ノ復員実施状況ノ件報告 昭和20年10月4日」陸軍省『昭和20.9～12 東海軍管区復員に関する綴』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C15010812500)
- 厚生省援護局『昭和36年12月1日 陸軍航空部隊略歴(その6)付.航空部隊の隷指揮下にあったその他の部隊』(防衛省防衛研究所所蔵資料)(JACAR(アジア歴史資料センター) Ref.C12122423600)
- 豊川海軍工廠「豊川海軍工廠附近防備施設調 20-8-31」第二復員局『豊川海軍工廠引渡目録』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C08010954800)
- 陸軍卿 山県有朋「下士官兵卒埋葬法則別冊之通相定候条此旨相達候事 明治6年12月」陸軍省『陸軍省達書 自明治4年至明治7年完第3号』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C08070041600)
- 第二河和海軍航空隊「兵器軍需品目録」第二復員局残務処理部資料課『航空隊引渡目録』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C08011070400)
- 「兵器目録 明治基地(1)」『航空隊 引渡目録4/14』アジア歴史資料センター Ref.C08011069900 防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料
- 「第73師団」陸軍省『第13方面軍編制人員表 昭和18年6月～20年』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(アジア歴史資料センター Ref.C12120985400)
- 1945『坑道陣地ノ参考』教育総監部 請求番号[中央・軍隊教育 典範-工兵・鉄道等-54] 防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料
- 『野戦飛行場設定整備要領別冊 水上飛行場設定ノ参考 昭和19年6月 陸軍航空総監部』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料) 請求番号[陸軍-中央-軍隊教育-典範-航空関係-220]
- 技術院・陸軍省『地下工場建設指導要領案 昭和20年2月』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料) 請求番号[陸軍-中央-軍隊教育-典範-その他-763]
- 海軍施設本部『特設見張所(戊)(兵装)施設標準』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(請求番号[海軍-⑥-土木建築-446])
- 海軍施設本部『防空砲台施設計画並実施要領』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(請求番号[海軍-⑥-土木建築-447])
- 野々山秀美『第七十三師団史 昭和19年7月6日～20年9月20日』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(請求番号[陸軍-本土-東部-106])
- 73D司令部『第七十三師団陣地編成図 昭和20年5月15日現在』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(請求番号[陸軍-本土-東部-107])
- 射場委員『大正九・三起 射場歴史 富津 伊良湖』(防衛省防衛研究所戦史研究センター所蔵史料)(請求番号[陸軍-本土-全般-158])

集計表

市町村別

市町村	件数			
	現存	不明	減失	
名古屋市	58	45	7	6
犬山市	6	5	1	
江南市	1	1		
小牧市	6	5		1
春日井市	12	12		
一宮市	5	3	1	1
稲沢市	2	2		
清須市	1			1
あま市	2	2		
津島市	2	1		1
尾張旭市	5	4	1	
瀬戸市	7	3	3	1
日進市	4	2	1	1
東海市	3	2	1	
大府市	2	1		1
知多市	11	10	1	
東浦町	3		1	2
阿久比町	2	1	1	
常滑市	3	3		
半田市	8	4	3	1

市町村	件数			
	現存	不明	減失	
武豊町	1		1	
美浜町	3	3		
南知多町	5	4		1
豊田市	10	9		1
みよし市	1	1		
刈谷市	1	1		
知立市	1	1		
安城市	30	25	4	1
岡崎市	9	5	4	
高浜市	1	1		
碧南市	2	2		
西尾市	18	15		3
幸田町	7	1	4	2
東栄町	2	1	1	
新城市	22	12	7	3
豊川市	29	27	1	1
蒲郡市	1	1		
豊橋市	81	53	26	2
田原市	21	12	9	
合計	388	280	78	30

種別

種別	件数			
	現存	不明	減失	
軍事施設	160	102	50	8
軍需工場	46	34	7	5
空襲・戦災	41	34	1	6
その他	141	110	20	11
合計	388	280	78	30

ステータス別

ステータス	件数	比率
現存	280	72.2%
不明	78	20.1%
減失	30	7.7%
合計	388	

愛知県戦争遺跡調査報告書

2026年3月 発行

編集 ナカシャクリエイテブ株式会社

発行 愛知県

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6783